

大型バスで群馬から応援

東京都議選での日本共産党の勝利で参院選での躍進につなげようと、全国の党组织が都議選応援に力を尽しています。

25日、群馬県の東毛地区委員会は大型バスで東京都文京区へ向かい、都議選に向けた活動を支援しました。石原まりこみどり市議（中央）、水野正己（太田市議）、篠木（しづき）正明地区委員長（館林市議）が参加しました。バスは午前6時50分に桐生市を出発。東毛、伊勢崎、前橋の各地区の参加者を乗せながら文京区へ向かいました。



住民と対話する石原みどり市議（中央）=25日、東京都文京区

都議選勝利へ全国から飛躍つくろう



参加者を乗せた大型バス
25日、群馬県太田市

「文京区は定数2で、大激戦となっています。毎回、僅差で勝敗が分かれる選挙区です。わたしたちの支援で、福手ゆう子都議の再選を勝ち取りましょう」。車内で篠木氏が訴えました。

初マイク宣伝

10時にバスは文京区へ到着。参加者は五つの班に分かれてそれぞれの事務所に入り、その日の行動を支部の党員たちと話し合いました。

石原市議と水野市議の第5班は、午前中は500万要求対話を実行することに。現地の党員の説明を受け、さらに三つのグループに分かれ、地図を手に担当地域

へ向かいました。
比較的新しい住宅の多い地域を、石原氏たちは順番に「軒並み訪問」。インターほんじに「日本共産党区議会議員のいたくら美千代事務所から、アンケートに協力していただきたく参りました」と伝えられた。手が離せないのでボストに入れておいてください、などの答えが多いものの中には玄関先まで出てきて対話に応じる住民もいました。

激しい選挙戦を反映し、他党の候補のリーフレットが届いている所も。「予想していたよりも多くの住民が対話してくれました。『赤旗』の紹介もし、日本共産党的支援をお願いし、一軒一軒訴えて回りました」と、石原氏は言います。

この日は要求対話の他に、ハンドマイク宣伝も行わされました。初めてハンドマイク宣伝に取り組む人もいて、「おもしろい経験になつた」と話します。

「消費税の減税と財源について訴えると、『都議選がんばって』と声をかけてくれる住民もいましたし、車の中から手を振る人もいました」。ハンドマイクで福手ゆう子都議の政策について訴えました。「お仲間に広げてください、と声をかけました」。手渡します。

「全体の半数くらいの住民は、笑顔でピラを受け取りました」と水野氏は言いました。「お仲間に広げてください、と声をかけました」。

午後4時すぎには参加者は帰りのバスに乗り込み、道中で感想交流も行いました。

個人で電車や車で東京に向かうのは限界があるのですが、バスを出すことにした」と篠木氏。

「都議選支援の経験は、群馬での参院選の取り組みのために、力を作させて積極的な取り組みを続けます」。（渡部雅士）

地区から元気をもらつた思いです

東毛地区は今後も、都議選・参院選勝利と党勢拡大のために、力を合わせて積極的な取り組みを続けていきます。

（渡部雅士）